

第七回

三宅 狂言会

第九世三宅藤九郎作
新作狂言

ぼうふり

子子子

大ぼうふり
三宅 右矩

小ぼうふり
三宅 近成

立衆

前田 晃一

金田 弘明

倉田 周星

土屋 光

片伯部 浩正

杉山 龍太郎

地謡

河路 雅義

高澤 祐介

三宅 右近

吉川 秀樹

笛 一噌 幸弘

小鼓 飯富 孔明

大鼓 亀井 洋佑

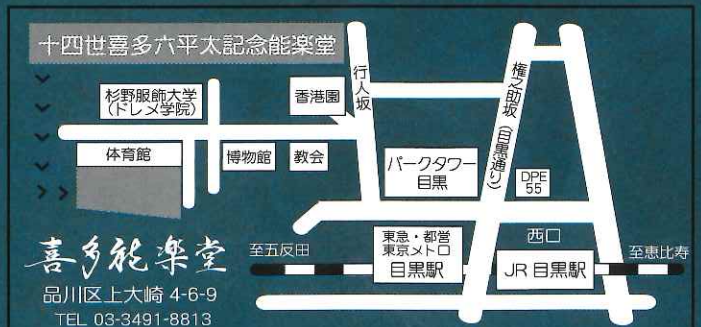
太鼓 金春 國直



2016年12月3日(土) 13:30 開演 (13:00 開場)

喜多能楽堂

S席 7,000円
A席 5,000円
自由席 4,000円



お申し込み・お問い合わせ 座席表 2階 自由席
JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。
Tel/Fax : 03-6766-7325 (三宅) info@miyake-kyougen.com http://miyake-kyougen.com

花子

はなご

夫

高澤祐介

太郎冠者

三宅近成

妻

前田晃一



第七回

三宅狂言会

番組

狂言

花子

素囃子

獅子

狂言

子子

花子

はなご

以前、馴染みになった女「花子」から、自分に会いに都に上ってきたという手紙をもらった男は、何とか妻を出し抜こうと、太郎冠者に自分の身代わりに座禅をさせると、頭から衾をかぶせて出かけてゆきます。一晩経って帰ってきた男は、衾を被ったままの太郎冠者を前に、延々と花子との一夜の思い出を語るのです

が・・・
長時間にわたり、花子とののろけ話を、謡と舞を交えて独演する後半部は圧巻。「釣狐」、「金岡」という秘曲を勤めた後に披く至難の大曲を、高澤祐介が披きます。

子子

ぼうふり

雨露の溜まり溜まった水たまりに、一夜の内に生まれ出た大きな子子(ぼうふら)が、水面に上がり出て、棒振りをしています。そこに水底から湧いて出た小さな子子を見つけると、ここは自分の縄張りだから出て行けと脅します。小子子は、同じ水たまりに湧いた者同士仲良くしようと言いますが、大子子は聞く耳を持たず、力づくで追い出そうとします。そこで小子子は大勢の眷属を引き連れ、大子子を懲らしめようとする・・・

多くの新作狂言を手がけた人間国宝、九世三宅藤九郎の代表作を、約四十年ぶりに復曲して上演します。